

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月15日更新

事務事業名		交通指導員設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	中村誓丞
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	10	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目3	事業連番10041	法令根拠	道路交通法、交通指導員設置規則 成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：②	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 54 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、市からの委嘱により交通指導員を設置。毎月1日、10日、20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等へ派遣する事業。現在の指導員数は19名。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	指導員の選出、委嘱状の交付、法定講習会へ派遣、街頭指導等出勤依頼、費用弁償・報酬の支払
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)、需用費(消耗品費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・26年3月末現在、19名の交通指導員を委嘱し、市が設定している安全安心の日や、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の通学路を中心とした街頭指導や、市主催行事等での交通指導、交通指導員会議の開催、交通指導員法令等講習会への参加を行ない交通安全意識の向上や交通事故防止に努めた。		25年度に同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:指導員の出勤行事数	件	前年度全員分の制服を一括購入したが今年度は一括での購入は行なわないため、制服代(消耗品費)の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア:市民 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
交通事故に遭わないようにする		→ア:市民が交通事故第一当事者となった人数 人
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
交通指導員の街頭指導、啓発活動により、交通事故の未然防止につなげる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア	件	47	47	41	49	41	41	41	41	
	イ										
②対象指標	ア	人	56,638	57,367	57,377	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429	
	イ										
③成果指標	ア	人	320	273	310	292	305	300	295	290	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	1,512	1,532	1,756	1,590	1,551	1,850	1,850	1,850
		(A)事業費計	千円	1,512	1,532	1,756	1,590	1,551	1,850	1,850	1,850
		(A)のうち指定経費	千円	735	720	774	735	774	850	850	850
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	2	4	2	2	2	2
延べ業務時間	時間	52	150	52	155	52	52	52	52		
(B)人件費計	千円	209	610	211	617	211	211	211	211		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,721	2,142	1,967	2,207	1,762	2,061	2,061	2,061		

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・交通指導員による街頭指導の継続により、運転者のマナーの向上及び通行者の安全確保に取り組むことで、目標達成見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指導員の研修等を行い、指導員の資質の向上を図ることで、街頭指導を通して交通事故発生を抑制できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指導員の専門的な交通関係の知識を必要とするため、統廃合できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員運営のための業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 交通安全は、市が主体的に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

目標は達成したが市民が第一当事者となる交通事故件数は前年と比べ増加している。今後も交通事故減少へ向け、指導員の知識・技術の向上と指導啓発の活性化を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>交通指導員の補充について積極的に呼びかけ等行なうほか、講習会を実施するなど、指導能力の向上を図り、市内の交通安全を推進する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>なし</p>																						